



# 心ひとつに

校訓「心ひとつに 明日を拓く」  
教育目標「気づき、考え、行動する生徒の育成」

美郷町立美郷中学校  
令和6年3月15日  
文責：校長



\* 本校ホームページ→

## 第12期生卒業証書授与式



9日は、第12期生の卒業証書授与式が行われ、悠輝学年124名が新たなステージへと歩み出しました。

校長からは「夢に向かって、自分に合った方法で道を選択し、焦らず果敢に歩みを続けてほしい。」ことなどを話しました。

松田町長さんからは「人の成長のためには、植物同様に肥料が必要であり、中学校生活での経験や思い出の記憶がそれにあたる。即効性のものではないので、来たる日まで大切にしてほしい。」といった励ましのお言葉をいただきました。



送辞では、〇〇〇〇(24)さんが「諸行事や部活動で見せてくれた悠輝学年の行動力への賞賛と感謝、伝統を引き継いでいくことの決意。」を述べました。



答辞では、〇〇〇〇(34)さんが「3年間の思い出。後輩へのエール。先生、保護者、そして、3年間一緒に過ごした仲間への感謝の言葉。」などを心を込めて語ってくれました。湧き上がる感情を抑えながら、必死に語り続けようとする姿は、周囲の胸を熱くさせました。

式は、〇〇〇〇(21)さんと〇〇〇〇(23)さんのナレーションが進められました。全校合唱「いのちの歌」(伴奏：〇〇〇〇さん 指揮：〇〇〇〇さん)、3年年生の合唱「3月9日」



(伴奏：〇〇〇〇さん 指揮：〇〇〇〇さん)、校歌合唱(吹奏楽部演奏指揮：〇〇〇〇さん)などの美しいハーモニーによって、会場が感動で包まれました。

3年生の返事や歌声、式に向かう姿勢は、義務教育9年間の総まとめにふさわしいものでした。また、式に参加した1・2年生の存在も大きなものがありました。在校生が美しい歌声や態度で式を支えました。更に、清掃や式場準備から撤去までの作業にも率先して取り組みました。3年生への感謝の気持ちと伝統を受け継ぐとする在校生の気概が感じられました。



生徒玄関前では、1・2年生の応援団が、最後の学活を終えた3年生に、今までの感謝の気持ちを込めて、学級ごとにエールを送りました。



また、これを受けて、3年生の各学級からも在校生へのエールが返されるなど、小雪の舞う中、最後まで心温まる交流が繰り広げられました。



## 感染症対策をお願いします

一斉メールでお知らせしましたとおり、今週に入り、インフルエンザBの罹患者が急増しています。部活動休止(17日まで)や下校時間等の急な変更にご対応くださりありがとうございました。まだ、予断を許さない状況にありますので、手洗い・うがいの励行や十分な睡眠と栄養の確保、マスクの着用等、必要に応じた基本的な感染対策へのご協力をお願い申し上げます。